



Yonago East Weekly

「一人ひとりが輝きを！ ロータリーに大きな輝きを！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/高橋孝之 ●幹事/杉本真吾 ●会報/細田耕治

会員数 103名
(正会員 102名 名誉会員 1名)

今週のお祝い

出席100%祝: 2年 楠 明彦君 7年 今出 上君
42年 荒川雄司君

会長挨拶

皆さんこんにちは

今日は、ロータリーのお願いと連絡事項でございます。ロータリー事務局から連絡があり、2690地区のロータリーカードの集計が示されました。そして、米子東RCもたくさんの方に入ってください、とのことでした。2690地区には全部で67クラブがあるのですが、その中で米子東RCは、61番目です。この第2ブロックでは、最下位でした。

米子東RCは新入会員の方が多いたのですが、ぜひ、ロータリーカードとか地区大会へ参加していただきたいと思っております。このロータリーカードは、使えば使うほど、寄付金が増えることとなります。ぜひ、ご活用されてはいかがでしょうか。

もう一つは、今日からクールビズで、ネクタイは必要ありません。たまたま昨日、九州の都城へ行ってきましたが、大雨でした。今日から梅雨入りし、うっとうしい日が続くかもしれませんが、クールビズで例会が楽しくできるようにしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

幹事報告

1. 6月より9月末までクールビズ
2. 本日 18:30より新年度クラブ協議会
3. 来週6/10 例会場高砂 当日駐車場等混雑が予想
例会終了後 臨時総会開催
4. 6/14 中海一斉清掃参加のお願い 本日〆切
5. 次年度5RC合同会員名簿の確認のお願い
6. 例会変更のお知らせ
米子中央RC 6/18(木)夜間例会
ピジター受付あり
鳥取北 6/9(火)移動例会 //
- 松江 6/17(水)夜間例会 //
7. RIより杉原弘一郎会員に新入会員推薦に貢献による認証品の贈呈



次回プログラム

- 6/10 「ロータリーの友」紹介
「理事退任挨拶」
- 6/17 職場訪問 「山陰労災ミニ人間ドック」
- 6/24 夜間例会 19:00~
(ホテルサンルート米子)

今後の主な行事予定

- 6/20 庄司尚史ガバナーエレクト年度
「第1回地区役員予定者連絡会」
17:30~ (境港マリーナホテル)
- 7/8 杵村ガバナー補佐訪問クラブ
協議会 例会終了後 (高砂)
- 7/22 佐藤ガバナー公式訪問 18:30~



Light up Rotary
ロータリーに輝きを

<プログラム>

「基礎自治体から見た地方創生と防府市の取り組み事例」



防府市長 松浦正人 氏

皆様、こんにちは。日本で一番古い天満宮である防府天満宮で名高く、今、NHKの大河ドラマ「花燃ゆ」にも取り上げていただいている防府市の市長をしております、松浦と申します。私は、昭和17年9月生まれでございます、杉原弘一郎さんとは、20年以上のお付き合いでございます。市議1期、県議3期、そして、市長が5期目でございます、地方自治を35年間という長きに亘りやっていることになりました。市長もこの6月から18年目になりますので、かなりの古株で、中国市長会の会長を以前から務めるとともに、今は全国の副会長を仰せつかっています。そして、教育と地方創生の分野で、全国を飛び回っているのが実情です。

今、教育の大切さは、言うまでもないことでございます。「教育なくしては日本の再生はない」とさえ、一時期思っておりました。全国の同土に呼びかけて、教育再生ということで、首長会議を設立いたしました。全国に813の市・区がありますが、その中で130の市が加入しています。昨年の6月に設立総会を行ないましたが、下村文部科学大臣を来賓にお迎えし、桜井よし子さんに基調講演をしていただきました。このように教育に対する同土はたくさんいると思っています。

一方、「地方創生」ということが、盛んに言われています。そして、「地方でいい知恵を出してくれ、地方の先進事例を、国もどんどん吸い上げていくから」と言われます。しかし、地方にそんなに妙案があるわけではございません。この地方創生は、既に皆様が行っていることでございます。皆様がやっていることの中で、「こういうことはやりにくいとか、困る」といったことをどんどん出していただくこと、また、それを国会議員が真摯に受け止めて、政策として反映していくことではないか、と考えています。

実は、地方創生は、今に始まったことではありません。例えば、江戸時代にもそれぞれの藩に

おいて、行政改革とか国土強靱化対策のような、地方創生を行っていたのです。それがあったからこそ、明治維新といった日本の近代化が、実現してきたものと思います。

実は、5月27日に内閣府で、地方移住促進国民会議というものが、誕生いたしました。私も、全国市長会の代表として出席いたしました。そこで、私は「もし、国が本当に地方創生をお考えであれば、国家公務員の方が、妻子を連れて一緒に地方に赴任されてはいかがでしょう」とお伝えしました。一方、国会議員の方にも「地方区として出るのであれば、妻子を地元の方に置いておきなさい」と、よくお伝えしています。地方創生の号令をかけるのであれば、政府とか国会議員も、それなりの腹づもりが必要ではないか、と考えています。防府市に置き換えますと、人口12万人の市ですが、国土交通省とか自衛隊の方などが妻子を帯同することによって、1000人は増えるかと思えます。そして、洗濯屋も薬屋も病院も潤います。また、国家公務員の方は、その地方の実情を深く理解することができていくのです。それと、地方においても、一人ひとりができる全てのエネルギーを地域の活性化に注ぐことが、一番大切なことではないかと思っています。

今日は、皆様に私の活動報告紙を、お配りさせていただいています。2ページにグラフが出ていますが、これが、私が取り組んだ行政改革です。市長に就任したときは、借金は頂点までいって、貯金はほとんどない状態でした。それが、今では行政改革の効果がどんどん上がっていて、火葬場の整備とか、消防署の建て替えとか、中学校給食の導入等々をやってまいりました。私は、国会議員も県会議員も市会議員も、半分でいいと思っています。こういった人を減らす改革が必要だ、と思っています。4~5ページには、私の公約に対して、自分なりの採点をつけて書いています。毎年、自分の活動を振り返り、次年度の活動に活かそうとしているところです。

ぜひ、機会がありましたら防府市へお越しいただくことをお願いして、結びとさせていただきます。